

## 後期高齢者医療広域連合議会に請願書提出 保険証廃止反対、保険料引き下げなどを求める請願 8月25日の議会で審議です

本日、京都社保協高齢者プロジェクトのメンバー、楠さん・行松さんと事務局・松本で後期高齢者医療広域連合議会に「後期高齢者医療被保険者証廃止の中止を国求める請願書」「後期高齢者医療制度の保険料・窓口負担の緊急引き下げなど制度の改善を求める請願書」を提出しました（紹介議員は共産党の玉本さんと巽さん）。

社保協メンバーは、資料として「75歳以上の医療費窓口の2倍化アンケート結果（京都市民医連実施分）」と年金者組合京都府本部女性部がまとめた「女性の暮らしアンケート」を資料として提出しました。

提出の際に若干のやりとりを行いました。社保協側が「マイナンバーカード利用による保険証廃止で不安や疑問の声が寄せられていないか？」と聞くと、広域連合事務局は「いまのところそういう疑問は寄せられていない。区役所などに聞いているのかもしれない」とのことでした。また、「高齢者の生活が厳しくなり、昨年よりも10%近く生活が苦しいという方が増えている。そのなかでお金の心配なく医療が受けられるようにしてほしい」と要望。事務局は「生活保護申請が10%上がっているという報道もあり、厳しい状況であることは理解している」と回答。社保協は「後期高齢者医療広域連合が後期高齢者のいのちと健康を守るために力を尽くしてほしいという要望は年々強くなっている。議会としても、広域連合としても、健診制度の自己負担費用の引き下げなど、しっかりと対応してほしい」と要望し、あらためて懇談を行うことも申し入れました。

広域連合議会は、8月25日(金)13時30分都ホテル（京都駅八条口）で開催されます。可能な方はぜひ傍聴を。

### 「健康保険証をなくさないで」署名が届きました！順次、送付・お届けします。どんどん活用をして保険証廃止を中止させましょう！

